

東ひろしまの遺跡

Vol.6

「学び舎」の地下は「学びの宝庫！」

よこた 横田3号遺跡 さいじょうちょう け 西条町寺家



写真1 井戸の発掘調査状況

横田3号遺跡は、平成27年10月～平成28年2月まで平成30年4月に開校する龍王りゅうおう小学校の新設事業に伴って発掘調査を行いました。

その結果、中世～近・現代の井戸・土坑・埋桶・埋甕土坑・溝状遺構・ピットなどの遺構を多数検出しました。また、その中からは、近世を中心とした陶磁器・土師しつどき質土器・瓦のほか、木製品（柄杓ひしゃく）や金属製品（古銭・簪かんざし）、石製品（砥石といし）などが多量に出土しました。

特に、今回の調査範囲からは多くの井戸が見つかっており、たくさんの情報を得ることができました。例えば、井戸の幅と同じくらいの大きさの平石を底に据えて、その上に石仏（地蔵）が置かれていた井戸がありましたが、これは、使われなくなった井戸を埋めるために、水神様すいじんさま（井戸の神様？）に対してのお祀りだったのでしょうか。

また、明治時代のものでは、備前焼の大甕の底を打ち欠いて井戸枠に再利用したものや、専用品として特別に作られたと考えられる土師質土器（原村焼の「はんどう甕」と同じ製法）を井戸枠にしたものなどが見られました。

井戸以外には、水溜用に作られたと思われる埋桶や埋甕土坑など、水に係わる遺構が多数ありました。

遺物は、肥前系の陶磁器、備前焼の甕と播鉢、在地系と思われる土師質土器などが出土しています。これらは、18 世紀後半～19 世紀前半のものが中心ですので、江戸時代中期～後期には、この付近に集落が存在していたことが考えられます。

ところが、明治時代になるとまったく様相が変わります。それまでの集落の一部と考えられた場所は耕作地となり、高低差の少ない水田を整備するため、地表面をかなり削平した痕跡が見られました。

また、区画された暗渠排水や比較的幅の広い同一方向に延びる溝などを確認されたことは、当地が明治時代以後に、大規模な農業経営を進めていったことを示しています。



写真2 横田3号遺跡完掘状況



写真3 柄杓出土状況



図1 横田3号遺跡位置図 (1:25,000)

中世の遺物が出土

いちじ
市地遺跡（西条町寺家）



写真4 市地遺跡完掘状況（上空から）

市地遺跡も、龍王小学校の新設事業に伴って発掘調査を行いました。運動場の予定地の一部（東端）で微高地が確認され、そこから遺跡が見つかりました。

発掘調査の結果、土坑・溝状遺構・ピットなどの遺構が検出され、須恵器、土師質土器、瓦質土器とともに中国から輸入された陶磁器や国産の陶磁器、また古銭などの遺物が出土しました。

土坑は、調査区の中央付近から東側にかけて、等高線に沿って6基が並んで出土しました。これらの中からは須恵器、土師質土器、陶磁器、木製品（網籠：写真5）などが出土しました。網籠などが



写真5 網籠の出土状況

出土したことから、収穫物を貯蔵するために掘られた穴の可能性も考えられますが、土坑の用途については今後の検討が必要です。出土した遺物から、この土坑の時期は13世紀代と考えられます。

溝状遺構は、調査区内を南北方向及び東西方向の流れが確認できることから、ある程度規格性をもって掘られたものと考えられます。また、この中からは、土師質土器、瓦質土器、古銭などが見つかり、その時期は13世紀代と推定されます。

ピット（小穴）は、地形的に一番残りの良い場所から見つかりましたが、調査区の北側と南側が削平を受けている関係で、掘立柱建物跡などの復元はできませんでした。ピットの中から出土した土師質土器などから、13世紀代の遺構と考えられます。市地遺跡の周辺には、中世頃に活躍した在地の武将（市地氏）の屋敷跡やそれに係わると推測される五輪塔などが伝わっています。（写真6 市地古墓）これは今回の調査区と非常に近い位置であることなどから、何らかの関連性があるのかも知れません。今回の発掘調査は、あまり広い範囲ではありませんでしたが、この地域の中世を考える上で、多くの資料が明らかになったと言えます。

参考写真：白磁四耳壺
重要文化財
「広島県草戸千軒町遺跡出土品」
提供 広島県立歴史博物館



市地遺跡出土遺物



同類の壺脚部か！？



写真6 市地古墓（荒神さん）



図2 市地遺跡位置図（1：25,000）

東広島市出土文化財管理センター報

東ひろしまの遺跡 Vol.6

発行日 2018（平成30）年3月30日

発行 東広島市出土文化財管理センター
〔東広島市河内町中河内 651 番地 7〕
TEL:082-420-7890 〒739-2201

編集 東広島市教育委員会生涯学習部文化課

E-Mail hgh207890@city.higashihiroshima.lg.jp

印刷 今谷印刷株式会社